令和8年度　第1回中央日本四県文化財交流事業講演会

越後における東海系須恵器生産技術：流入と展開

講師：春日真実 氏　（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

2026年12月12日（土）13:50～15:20［受付開始13:20］

会場：新潟県埋蔵文化財センター（オンライン併用）

聴講無料

定員：会場80名（申込不要／当日先着順）
オンライン参加90名（要申込み／先着順）

※申込方法は裏面をご覧ください（12/9 17:00締切）

上越市滝寺古窯跡群10号窯

主催：新潟県　協力：公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

令和8年度 中央日本四県文化財交流事業

中央日本4県
niigata,nagano,yamanashi,shizuoka

静岡県
静岡県スポーツ・文化観光部 文化財課
静岡県埋蔵文化財センター

山梨県
山梨県観光文化・スポーツ部 文化振興・文化財課
山梨県立考古博物館
山梨県埋蔵文化財センター

長野県
長野県県民文化部 文化振興課
長野県立歴史館
長野県埋蔵文化財センター

新潟県
新潟県観光文化スポーツ部 文化観
新潟県埋蔵文化財センター
新潟県立歴史博物館

令和8年度　第1回中央日本四県文化財交流事業講演会

越後における東海系須恵器生産技術：流入と展開

中央日本四県文化財交流事業は、フォッサマグナ（糸魚川・静岡構造線）でつながる新潟・長野・山梨・静岡の4県が連携し、それぞれの地域で育まれた特徴ある文化財を活用し、その魅力を広く発信する取り組みです。今年度、新潟県では県内から出土する古代の東海系須恵器に注目した講演会を開催することとしました。

越後では飛鳥時代の終わりころ（7世紀末）から、本格的な須恵器生産が始まりました。越後で作られる須恵器の生産技術には、尾張や駿河などの東海地方の影響を受けたものと越中や加賀などの北陸地方の影響を受けたものがあります。講演では、両者の形態の違い、県内の東海地方の影響を受けた須恵器窯の分布や東海地方の須恵器の生産技術の波及経路などについて論じます。

講師紹介

春日真実　（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

1992年新潟県教育庁入庁。長年、県教育庁、財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団にて、県内各地の公共事業に伴う発掘調査を担当した。専門は日本考古学。特に、古代の土器や集落などの調査・研究に取り組み、多数の論考を公表。

上越市滝寺古窯跡群東区2号窯・灰原出土遺物

上越市滝寺古窯跡群東区7号窯・灰原出土遺物

問合せ申込み

新潟県観光文化スポーツ部
文化課 埋蔵文化財係
電話：025-280-5620
メール：ngt150030@pref.niigata.lg.jp

WEB申込みはコチラ

※オンライン参加は要申込み ＜12月9日(水)17:00締切＞